

# E N E O S 海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2025 年 8 月 1 日

工学部・工学研究科修士課程（どちらか○で囲む）  
所属学科・専攻・回生 社会基盤工学 学科 専攻 2 回生

氏 名 阿久津 慶

1. 参加期間 2025 年 7 月 15 日から 2025 年 7 月 18 日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

オーストラリア・メルボルン

International Symposium on Life-Cycle Civil Engineering (IALCCE2025)

3. 発表成果（概要）

橋梁に設置したセンサから得られる振動の情報から異常検知を行なう構造ヘルスマニタリング

について、実社会への導入を促すために、技術者判断と融合した新たな意思決定枠組みを提案

し、その費用対効果を定量化する研究を修士課程で行なっている。当日は現時点までの研究成

果について、15 分の口頭発表を行なった。質疑応答では解析結果の前提条件について質問を

受けたが、概ね趣旨に沿った回答ができたと思う。学会自体は、ライフサイクルコストに関連

する研究が幅広く、普段馴染みのない分野のセッションにも参加し、刺激を得ることができた。

費用対効果の具体的な定量化は修士課程の最後に行なう予定であり、それに向けた知見を深め

られたと感じる。また、ディナーや休憩時に海外の研究者や学生と会話する場面も多く、コミ

ュニケーションの重要さを改めて感じた。即座にポイントを押さえて会話を進める力を養い、

今後の国際学会や海外研究者とのディスカッションの機会に活かしていきたい。

4. 奨学金の使途

往復航空券費用に充当